

服の回収実験に
ご参加ください。



あなたの服を地球の福に。

FUKU-FUKU プロジェクト



綿からバイオマスエネルギーをつくる新技術を活用して、衣料品の100%リサイクルのしくみをつくるために、業界を越えた企業が手をつなぎました。無印良品は、プロジェクトの一員として、服の回収実験を行います。もう着なくなってしまった服がタンスのなかに眠っていたら、期間中に、無印良品のお店にお持ちください。

回収実験期間：1月30日(土)→2月14日(日)

無印良品

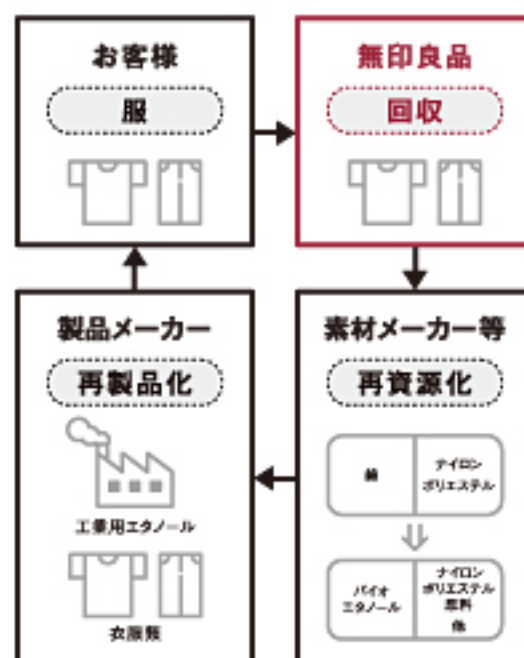
衣料品リサイクルのしくみをつくるために、
あなたも服の回収実験にご参加ください。



FUKU-FUKUプロジェクトは、 衣料品の100%リサイクルをめざします。

- 1 回収した衣料品は自然界に存在する酵素と微生物で分解し、衣料品に含まれる綿をバイオマスエネルギーのひとつであるバイオエタノールとして再生します。バイオエタノールは、工業用エタノールや石油に代わる燃料として利用します。
- 2 ナイロン、ポリエステルなど、綿以外の素材は、再びナイロン、ポリエステルなどの原料へ再資源化します。
- 3 残った材料は熱分解し、燃料等で使うことで、ほぼ100%のリサイクルを実現します。

今回の実験は、「回収」から「再生資源の販売」に至るリサイクルのしくみを検証するために2009年8月～10月に関東一部店舗で行われた回収実験の追加実験として実施されます。



役割を終えた服が国産のエネルギーに。

バイオエタノールは石油代替燃料として注目されるエネルギーです。廃棄されてきた衣料をバイオエタノール化すれば、限られた化石資源の消費を減らすばかりか、食物との競合もありません。

地球温暖化対策にも役立ちます。

現在、日本国内で廃棄されている綿約120万トンから生産可能なバイオエタノールは約85万キロリットル、削減できるCO₂は年間約130万トン(CO₂)に及びます。

※日本政府は、2030年までに年間600万キロリットルのバイオエタノールの生産を目標として掲げています。

FUKU-FUKUプロジェクトは、国の支援を受けて行われます。

衣料品の100%リサイクルをめざす今回の回収実験は、良品計画、ワールド、三菱商事、東レ、帝人ファイバー、東海染工、積水化学工業、日本環境設計が中心メンバーとなり、経済産業省および中小企業基盤整備機構の支援を受けて行われます。

【回収の期間】 2010年1月30日(土)～2月14日(日)

【回収の方法】 大阪府内の下記無印良品店頭にて不要になった衣料品をお持ち下さい。

難波、阪神百貨店、梅田ロフト、京阪モール、天満橋京阪シティモール、あべのand、天王寺MIO、八尾西武、泉北パンジョ、アリオ鳳、イオンりんくう泉南、FO大阪鶴見三井アウトレットパーク、オーロラモール高槻、枚方ピオールネ、くずはモール、マイカル茨木

【回収対象商品】 無印良品の紳士、婦人、子供服(下着、雑貨は除く)。※洗濯ネーム表示に株式会社良品計画と記載されているもの。

【回収時のお願い】 リサイクルを有効に行えるよう、回収品を店頭にお持ちになる前に必ず洗濯をお願いいたします。

【実験協力のお礼】 実験にご協力いただいたお客様には

ポリカーボネイト軸中性(ゲルインキ)ボールペン(税込100円)をさしあげます。※賞品は予告なく変更される場合がございます。